

# 豊かな環境の中、充実した設備で 次代を担う人材を育成します。



## 教育理念

- 人間尊重を基盤とし、調和のとれた豊かな人間性を備えた人材を育成します。
- 助産、看護に関する必要な知識・技術・態度を備えた人材を育成します。
- 主体性・創造性を備えた人材を育成します。
- 専門職としての責任感や研究的態度を備えた人材を育成します。

## 特色

### 伝統

昭和25年5月に開学。以来、令和3年3月までに学院を巣立った卒業生は約4,910人。県内の病院や保健所などで活躍中。

### 総合

看護師養成(3年課程)、助産師養成の2課程がある総合学園。

### 環境

医聖華岡青洲にちなむ「青洲の里」に隣接し、周囲を緑に囲まれた、静かなキャンパス。伸び伸びと学ぶ、落ち着いた日々。

## 学科及び定員

| 学 科  | 1学年定員 | 総定員  | 修業年限 | 備考 |
|------|-------|------|------|----|
| 看護学科 | 50人   | 150人 | 3年   |    |
| 助産学科 | 10人   | 10人  | 1年   |    |

## 沿革

- 昭和25年 5月 新制度による看護師養成所として和歌山県立医科大学附属高等看護学院を設立  
5月22日開校
- 昭和27年 4月 和歌山県立高等看護学院と改称  
和歌山市徒町に新築し移転
- 昭和28年 2月 所管変更により看護師養成所として厚生省認可
- 昭和28年10月 保健師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 2月 助産師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 4月 保健助産学部(合同コース)の養成開始
- 昭和42年 9月 和歌山市和歌浦に新築し移転
- 昭和43年12月 進学課程(夜間3年)の看護師養成所として厚生省認可
- 昭和53年 3月 専修学校として認可
- 昭和55年 4月 看護学科一部の定員を45名に増員  
保健助産学部を保健学科・助産学科に分離し定員をそれぞれ15名とする
- 昭和58年 4月 保健学科の定員を20名に増員
- 平成 2年 4月 看護学科一部の定員を50名に、  
看護学科二部の定員を45名に増員
- 平成 6年 4月 看護学科二部、夜間から昼間の定時制に移行
- 平成11年 4月 那賀郡那賀町に新築し移転
- 平成17年11月 紀の川市となる
- 平成19年 3月 保健学科の閉学科
- 平成23年 4月 看護学科二部の定員を40名に減員
- 平成24年 4月 看護学科二部の定員を35名に減員
- 平成29年 4月 助産学科の定員を10名に減員
- 令和 2年 3月 看護学科二部閉課
- 令和 2年 4月 看護学科に名称変更

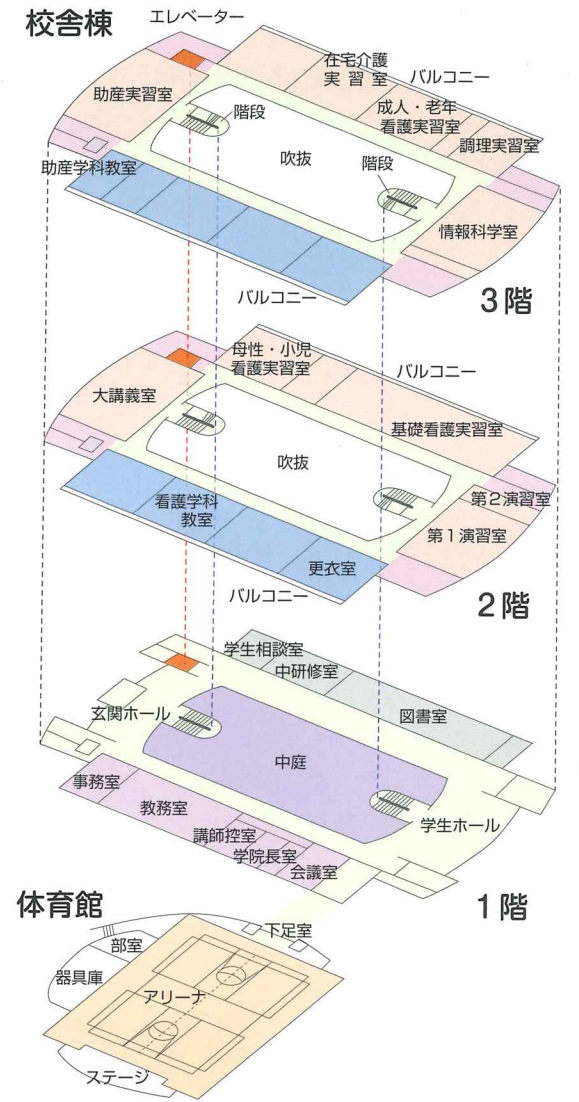
## 学費及び修学資金

|           |   |
|-----------|---|
| 授業料(年間)   | 120,600円  |
| 入学審査手数料   | 5,500円  |
| 入 学 金     | 22,000円   |
| 修 学 資 金 等 | ・修学資金を貸与する制度があります。<br>・入学金及び授業料を減免する制度があります。<br>・専門実践教育訓練給付金の支給対象校(看護学科のみ)です。 |

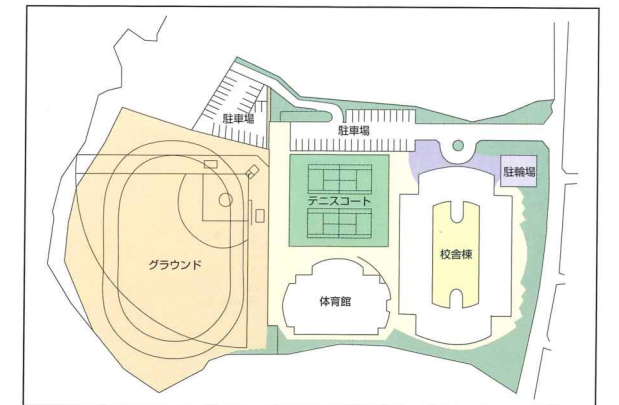
## その他

- スクールカウンセラー 相談日があります。
- 寄 宿 舎 寄宿舍はありません。
- 駐 車 場 学院に隣接した民間駐車場があります。

## 施設の概要



## 配置図



体育館はもとより、グラウンドやテニスコートまであり、県内有数の規模を誇っています。